

別記様式(第7条関係)

## 会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町子ども読書活動推進計画策定委員会
- 2 会議日時 令和4年 6月20日(月) 19時00分から  
20時30分まで
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数
  - (1) 委員 14名
  - (2) 事務局 5名
  - (3) 傍聴者 0名
- 5 議題  
富士川町子ども読書活動推進計画策定について  
親と子どもの読書活動に関するアンケート結果について
- 6 委員会内容
  - (1) 開会
  - (2) 委嘱状の交付
  - (3) 教育長あいさつ
  - (4) 自己紹介
  - (5) 富士川町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱について
  - (6) 委員長、副委員長の選出
  - (7) 協議
    - ①富士川町子ども読書活動推進計画策定について
    - ②親と子どもの読書活動に関するアンケート結果について
    - ③その他
  - (8) 閉会
- 7 発言の内容

①富士川町子ども読書活動推進計画策定について

事務局 富士川町子ども読書活動推進計画策定について、資料を用いて説明

議長 国ではスマートフォンのところが三次ではかけていたことが四次では改正をしたと動きがあり、また、県の策定率が令和5年では64%である。令和5年には富士川もできているということになると思うが。これを読み下すだけでも大変で、また次回に意見があれば出していただきたい。6ページ（目的・期間・スケジュール）についてはどうか。

事務局 スケジュールで示したとおり、2回目が10月で、本日から5か月のスパンがあるが、これは事務局で素案を検討させていただく期間である。先ほどのスマホ等のことも踏まえて素案を作り、一度皆様に先に郵送させていただき、見ていただいてから第2回の会議を開催させていただきたい。本日は提案だけのため事前に資料を渡せず申し訳ない。次回以降は事前に資料を送付する。

議長 「令和4年度に第2次富士川町教育大綱及び第二次富士川町総合計画が策定」とあるが、もうできているのか。

事務局 第2次富士川町教育大綱は策定されている。第二次富士川町総合計画は町長が変わったので策定される方向である。

議長 ホームページで公開は。

事務局 教育大綱はまだである。

議長 教育大綱と連携と書いてあるので、私たちもそれらの資料をいただきたい。

事務局 素案と一緒に送付する。

委員 第3章で家庭、地域、保育所・学校とあるが、家庭における取組内容は教育委員会の部分が多いのでは、保育所・学校は先生などが作成する部分が多いのか。

事務局 計画の基本的なベースに国・県のものがある。それに則って素案を作りながらこの委員会で練っていただきたい。保育所も学校も、所長や学校の方、子育て支援課の課長もいるので、ここで練ってもらうと考えている。作るということではなく、この場で検討してもらうということである。

議長 学校には学校司書がいるが、保育所には司書がないため、県を見ると、「学校等における子どもの読書活動の推進」となっており、「(1) 学校 (2) 保育所・幼稚園」となっている。司書がいる場合といない場合に分けて計画を出していただきたい。

事務局 いただいた提案のとおり、今後素案の検討をしていく。

議長 学校図書館の非利用率や不読率は富士川町のものを出していくのか。

事務局 学校を通じて依頼し、非利用率や不読率を出していきたい。

議長 今年度のものか、これまでのものか。

事務局 この後の説明にもなるが、昨年度アンケートを実施した。子どもたちだけではなく保護者や関係機関からも回答をいただいた。その結果から盛り込んでいきたい。

議長 1章の3と4のところには富士川町の別のものをのせていくのか。

委員 地域の実態を知ることは大事。学校や施設のことはそれぞれの事情があると思う。これを受けるのに重いなと思ったのは、新しい町立図書館を富士川町の子どもたちがどうやって活発に利用できるかをずっと考えている。私どもの持っている意見を出し合って、それを受けて教育委員会の方で素案を、ということではないのか。ここで、忌憚なく話し合って何をしたらいいとか話すのではないということか。県の動向が決まっていてそれに則ってとなるのか。

議長 新図書館のことをみんなで話し合っという考えだが、具体的に素案にどんなことを考えているのか。

委員 富士川町の歴史文化的なものを揃える、町のデマンドバスの巡回で図書館に行く、ハードな面とデジタルのもので県立のように検索できるようなものを置く、紙芝居を揃えるなど、それぞれの立場で意見を出し合って素案を作るのかと思っていた。

委員 計画を作るにあたっては、事務局で説明のあったように、ある程度国・県から示されている載せなければならないものが最低限ある。皆さん経験のある方なので確かな意識と計画に込めた思いがあるのがわかったが、最低限載せなければならない計画を素案として出していただいて、項目ごとに富士川町の地域が抱える課題や要望をつけ加えていくのがいいのではと。一つ一つを考えたものを寄せ集めるとバランス的にうまくいかないのではと思う。素案を見たうえで、力を入れたいところをこの委員会で募って修正を加えていく方が地道な方法でいいのではないか。

議長 まず提案する素案を見ながら、新図書館への期待が膨らむ中で、図書館の活用状況がよくなってほしいという思いを含めて、素案を出していただいた後に修正でよいか。

委員 素案が出てきてから、学校からはどう発信していくかを出させていたいただきたい。

委員 既に策定が終わっている町村もあるので、それらを見させていただきながら、素案を比較しながら進めていければと思う。計画の最後に具体的な事例などを入れるところもあり、そこに地域色がだせるのではないかと思う。具体案は、富士川町でも使えそうな項目もあるので、素案を見せていただいてから検討していくことでいいと思う。

委員 国・県から降りてくる部分もあると思うので、それを見ながら町独自のものを入れていきたい。

委員 推進計画ということで、図書館に対する期待をするのはわかるが、図書館を含め、富士川町の子ども読書活動推進そのものをみていくという視線が必要かと思う。学校図書館もあるし、各家庭にもある、という面を持つことが必要。素案の検討でいいと思うが、いつ送られてくるかわからないし、時間もかかると思うので、アンケートの結果があれば先に送ってもら

えれば、たたき台に何を付け加えたいかと考える時間になる。素案はある程度の完成の形が出てくればそれを見て流されてしまうようになるかもしれないので、独自性を出すためにはアンケートの結果で考えるほうが良いと思う。

議長 アンケートの結果はこの資料で、このほかにもあるのか。

事務局 手元の資料は概要であり、アンケートの結果から抜粋して掲載した。皆様には素案の時にきちんとしたものをお渡しする。本日の資料は、概要版である。

議長 素案を10月の前にいただき、アンケート結果を見ながら富士川町の子どもの読書傾向を考えながら、という意見をいただいたが、それによいか。

事務局 素案とアンケート結果は第2回の会議より前に、早めに渡すよう準備を進めていく。日程等決まったら検討できる期間を考えて郵送させていただく。

②親と子どもの読書活動に関するアンケート結果について

事務局 親と子どもの読書活動に関するアンケート結果について、資料を用いて説明

議長 アンケートを見て感想とかでもよいか。

事務局 詳細のアンケートは後ほどお渡しするが、この辺りを充実し盛り込んでほしいということを含めご意見・ご感想をいただけたらと思う。

委員 嬉しいことは児童生徒の80%が「読書が好き・どちらかというが好き」という回答があったこと。学年が上に進むにつれて読む機会が少なくなる。保護者からも期待があるように、ただ読むのではなく子どもたちの読みたいという気持ちを育てるような催しをしていくことがこれからも必要と思う。

委員 「読書が好き」というのが多いのは嬉しい。司書の先生が頑張っていて読書好きを育てていると思った。

委員 結果を見て「読書が好き・どちらかというが好き」という子がこんなにしたのかと嬉しくなった。アンケートの時は、コロナ禍で人数制限をしながらの学校図書館活動だったので心配だったが、この結果でよかった。今年度からは通常の活動になるので、読書好きの子が増えるような活動をしていきたい。

委員 アンケートでこんな回答だったのかという思いである。学校関係の方は好きという子が多くて嬉しいという発言だったが、本当か？と思う。私たちが小さいときに「読書が好きですか」というアンケートがあったとしたら「好き」といった方がいいのではないかという知恵はついていると思う。嬉しいというのは本当に嬉しいと思っているのかと不思議に思った。高学年や中学生は「こういったらいいのでは」という気持ちが働くのではと思う。

委員 児童生徒の80%が読書が好きというアンケート結果は、80%もないのではないかと思う。うちの子も知恵はついている。こう書けば喜ぶだろうと思っていると思う。アンケートの「必要な事」のところで「小中学校からは児童生徒の多忙化、ゲーム、スマホ、は妨げになっている」という意見があったが、読書活動推進の立場からは妨げだが、ゲーム・スマホ・テレビ・動画からも学ぶことは多くあると思う。ゲーム・スマホの側からみれば読書活動が妨げになっている。立ち位置の違いで意見が違う。ゲーム・スマホ・テレビ・動画はいけないことではないが読書の立場では妨げになっているということと思う。

委員 小説を読むだけではなく、本を見るなど全部含めて80%が読書が好きという数字が出てきたと思う。  
ゲーム・スマホが妨げになっているという意見もあるが、私も娘もスマホで調べたりする。本を見て覚えるということはあるかもしれないが、ほとんどの子がスマホを持っている。学年が上がると参考書になって、小説を読まなくなってくるのかもしれない。

事務局 アンケートは基本的に無記名で、児童生徒のタブレットアンケートの集計は機械的に行っており個々にどう思い回答したのかは分からなくなっている。この中で、「読書も物語が好き」という意見もあるが、「知らないことを知れる」「自分の興味があることを知れる」という意見もあり、詳細アンケートに記載されており、興味深いデータとなっている。

議長 アンケート結果をグラフ化などしてほしい。

事務局 一部グラフ化されている。

### ③その他

委員 今の子どもたちはほとんどスマホを使っているので、その中で新しい図書館に足を運ばせるにはどうしたらいいかと思っている。国・県の動向を踏まえて素案を出してくださるのは行政でしなければならないことだが、文章の上では書いても、学校も図書館もいかに魅力のある図書館をつくるかを考え、子どもたちが行きたいと思える図書館をつくってあげるのが大人の願いだと思う。それを忘れては形だけの会になってしまうのではと思う。

事務局 二点あり。まず、会議の開催時間について、もう少し早くという意見があった。仕事の都合で集まらない時間もあると思うが、意見をいただきたい。

もう一点は、2回目の開催は10月の予定。事前に素案とアンケート結果を送付するので確認し、様々な意見をお願いしたい。

議長 会議の時間について、あと3回開催されるが、いかがか。

委員 公務の中で来るのであれば勤務時間内でお願いしたい。15時くらい。

委員 15時とかにしていただけると助かるが、そういう方ばかりではないので。

委員 今日と同じ時間がいい。

委員 同じく。

議長 保護者の意見を伺わないといけないので19時開催でよろしいか。3回  
なので、都合をつけて出席していただきたい。早めの通知をお願いしたい。

議事終了

閉会